

第3章 景観まちづくりの立脚点

3

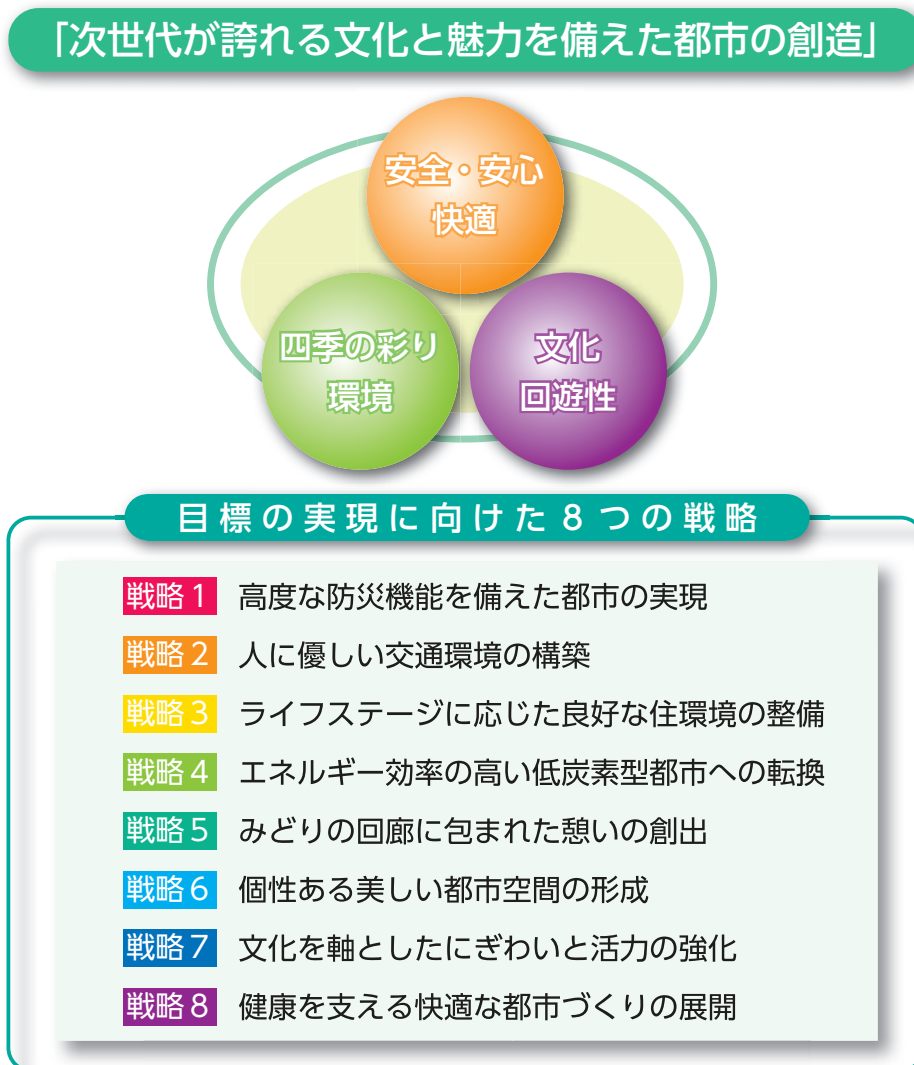
第1 都市づくりビジョンを実現に導く

都市づくりビジョン¹¹では、「次世代が誇れる文化と魅力を備えた都市の創造」を基本理念に掲げ、政策連携による多様な主体との協働によって実現する都市づくりの目標を「安全・安心で快適に暮らせる都市の実現」、「四季の彩りに包まれた環境に優しい都市空間の形成」、「文化の彩りと回遊性の広がりが生み出すにぎわいと活力の創出」としました。

今後、揺るぎない安全・安心の上に、人と都市に潤いや安らぎ、誇りをもたらす美しいみどりや景観、これまで引き継がれてきた歴史や新たな文化の創造など、都市の魅力を高める目標を積み上げながら国内外の人々から選ばれる都市づくりを展開します。

また、都市づくりの基本理念と目標を実現するために、区民、民間事業者、NPOが手を携えて取り組む8つの戦略（都市づくり方針）を示しています。

図表 3-1 都市づくりの基本理念、目標、戦略



資料：豊島区都市づくりビジョン(令和3(2021)年4月)

11 都市づくりビジョン：11ページ参照

第2 豊島区の都市構造

都市づくりの目標を実現する豊島区の都市骨格を、「拠点（集める）」、「軸（つなぐ）」、「面・ゾーン（広げる）」によって示しています。

景観計画²においても、この都市構造を踏まえた景観まちづくり⁵を進めていきます。

1 拠点

- 池袋駅及び東池袋駅周辺は、相互に連携して池袋副都心を形成する核に位置づけ、首都機能の一翼を担う多様な都市機能の高度な集積により、国内外の人々から選ばれる国際性の高い拠点を形成します。
- 駒込駅、巣鴨駅、大塚駅、目白駅及び東長崎駅周辺は、商業、業務、文化、交流、情報発信などの都市機能の集積により、区内外から人々が訪れる交流拠点として位置づけます。
- 私鉄及び地下鉄駅周辺は、日常生活を支える商業、医療、福祉、教育などの都市機能の集積により、地域の人々が活発に交流し、にぎわう生活拠点として位置づけます。
- 豊島区でのみどりの拠点（以下、「みどりの拠点」という。）である雑司ヶ谷霊園、染井霊園、学習院大学、立教大学は、自然や歴史的資源を生かした景観形成とともに、良好な地域コミュニティを醸成する空間づくりを進めます。

2 都市骨格軸

- 都市の骨格を形成する幹線道路は、道路ネットワークの形成にとどまらず、みどり、景観、環境、にぎわいなど様々な機能を担う都市骨格軸として位置づけます。
- 景観構造の主要な骨格となる神田川では、東京都景観計画で示された神田川景観基本軸³⁹を引き継ぎ、魅力ある景観形成に取り組みます。

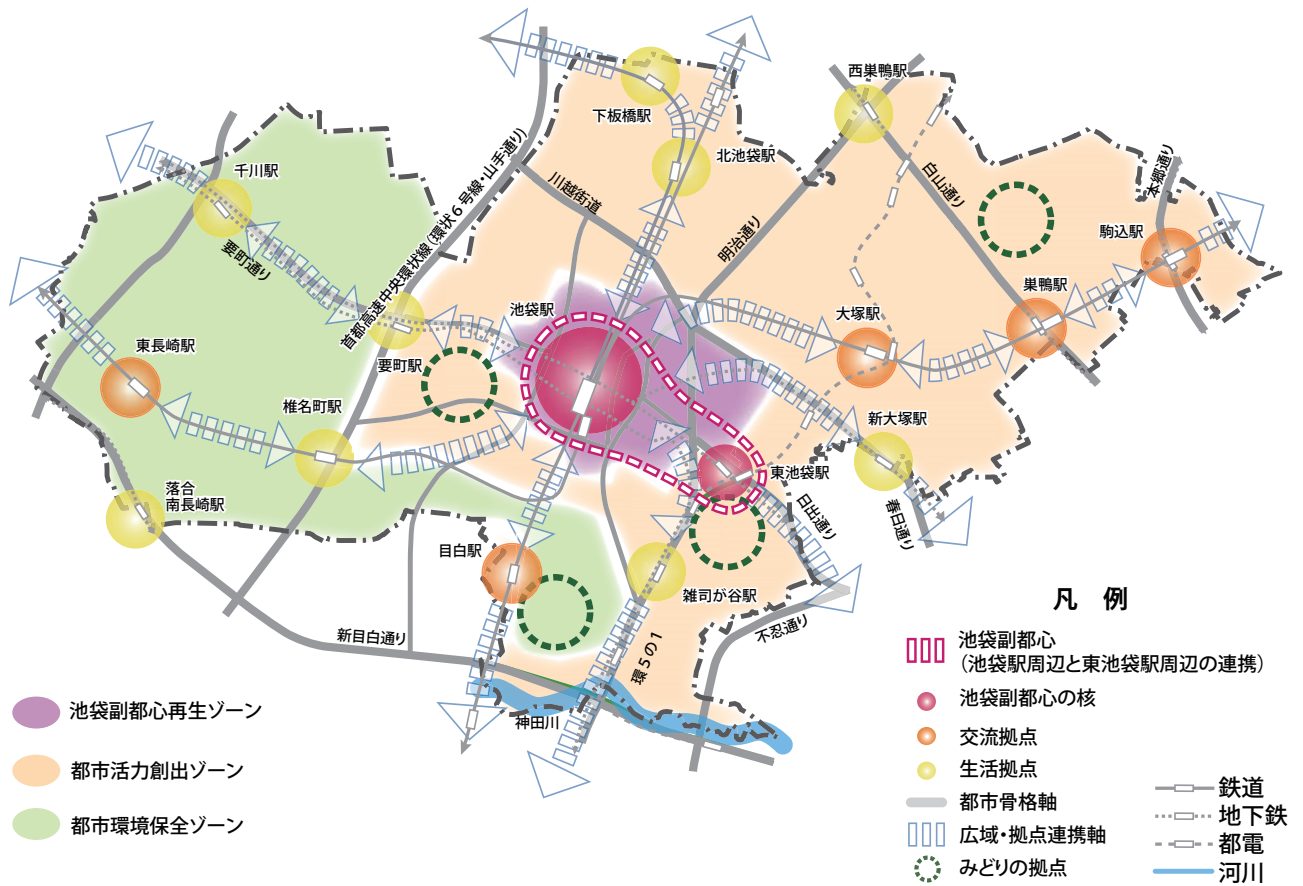
3 面・ゾーン

- 都市活力創出ゾーンでは、多様な都市機能が集積し、利便性が高く、職住が近接する魅力と歴史・文化を生かした個性ある景観形成を進めます。
- このうち、池袋副都心再生ゾーンでは、首都機能の一翼を担うエリアにふさわしい景観を創出します。
- 都市環境保全ゾーンでは、みどりの潤いが広がる低層住宅地などを生かした景観を形成します。

2 景観計画：8ページ参照
5 景観まちづくり：9ページ参照

39 神田川景観基本軸：東京都景観計画では、景観の主要な骨格となる河川や山地、道路などを景観基本軸として設定。神田川は、東京の中心部を流れ、歴史的な街並みや特徴ある橋梁などの文化が数多く残り、景観資源を生かしながら東京の象徴にふさわしい河川景観の形成をめざす

図表 3-2 豊島区の都市構造図



資料：豊島区都市づくりビジョン(令和3(2021)年4月)

第3 景観まちづくりの目標

第2章で示した豊島区の景観特性を踏まえながら、都市づくりビジョンで掲げた都市づくりの基本理念を実現する景観まちづくりの目標と方針を示します。

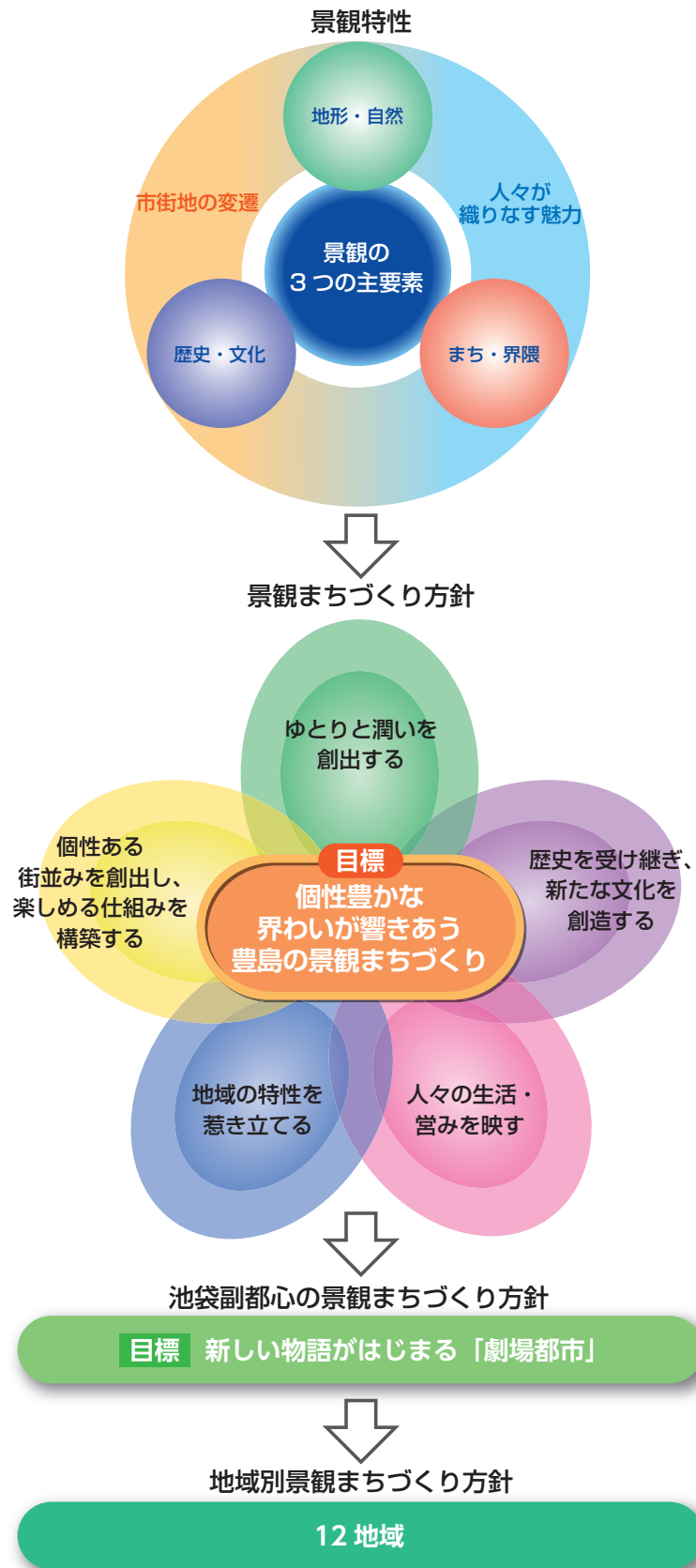
豊かなみどり、人々の温もり、新たな文化の創造など多様な界わいが共鳴し、心地良い交響曲となって広がる快適な都市空間を創出します。

個性豊かな界わいが響きあう 豊島の景観まちづくり

- 多文化が共生してにぎわう池袋副都心の躍動、日常生活の中に歴史が息づき落ち着いた雰囲気、人々が触れ合い生み出されるあたたかさなど、彩り豊かな地域の個性が調和して織りなす都市の魅力を高めていきます。
- 染井霊園や雑司ヶ谷霊園、神田川など地域の資産となるみどりとともに、そこで育まれてきた文化を守りながら、ゆとりと潤いが感じられる都市空間を形成します。
- 江戸の園芸文化、池袋モンパルナス²³、歴史的な建築物、マンガ・アニメをはじめとするサブカルチャー³など、多彩な文化を育んできた魅力を生かして、誰もが主役になれる「国際アート・カルチャー都市⁴⁰」にふさわしい景観まちづくりを進めます。

4 サブカルチャー：9ページ参照
 24 池袋モンパルナス：21ページ参照
 40 国際アート・カルチャー都市：区は平成27(2015)年3月に「国際アート・カルチャー都市構想」を策定し、区内の芸術・文化の多様な魅力を世界に向けて発信し、世界中の人々が集い、にぎわいと活力にあふれ、持続発展する都市をめざす

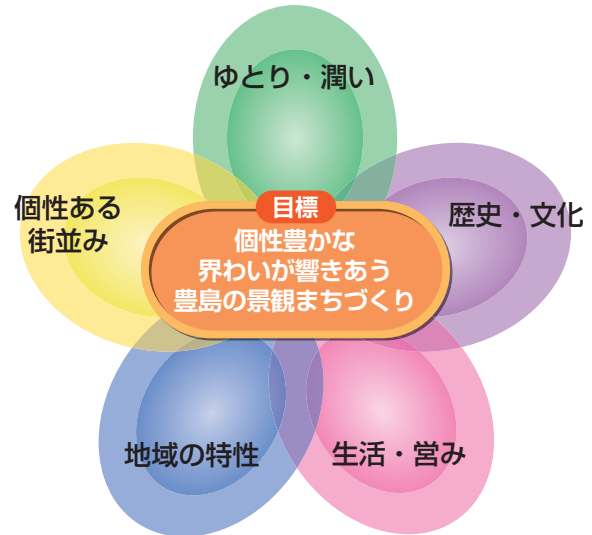
図表3-3 景観特性、景観まちづくりの目標、景観まちづくり方針の関係



第4 景観まちづくり方針

景観まちづくり目標の実現に向けて、景観特性を踏まえた景観まちづくり方針（景観法第8条第3項関係）を示します。それぞれの方針は、相互に重なり合いながら連携し、都市の魅力を高める景観の創出を担っていきます。

図表3-4
5つの景観まちづくり方針の連携イメージ



1 ゆとりと潤いを創出する

(1) 景観まちづくりの視点

- 起伏に富んだ地形や区内で唯一残る河川である神田川など、地形や自然を生かした景観の形成が必要です。
- みどりの拠点である染井霊園、雑司ヶ谷霊園、学習院、立教大学などのまとまったみどりを生かしながら、ゆとりと潤いが広がる景観の創出が必要です。

(2) 景観まちづくり方針

①地形の表情を大切にする

- 斜面や坂をできる限り生かしながら建築物などのデザインに取り込むなど、地形の表情を大切に景観形成をめざします。
- 河川・水路の暗渠¹⁴部では、かつての緩やかな川の流れる感じられる道路や緑道、散策路などの整備とともに、こうした空間に建築物が顔を向けた街並みを誘導します。
- 古くから生活とともにあった坂道や現在も交差点に残るかつての橋名など、地域で親しまれてきた名称やその由来を記憶に刻み、歴史の趣を感じられる街並みを形成します。

図表 3-5 宿坂と金乗院



②みどりの潤いを広げる

- 国の特別名勝である六義園は、江戸時代に作庭された大名庭園として優れた庭園風景を提供していることから、庭園内部とその背景を含めた眺望を保全し、歴史的・文化的な景観を継承していきます。
- 染井霊園、雑司ヶ谷霊園、学習院、立教大学は、関係機関などと連携して維持・保全を図りながら、みどりの潤いや歴史的資源を生かした景観を形成します。
- みどりの拠点では開放的な街並みを形成するとともに、その周辺においても道路や公園・広場、民有地での緑化を促進し、連続したみどりを創出します。
- 放射26号線（日出通り）、補助77号線（グリーン大通り）、アゼリア通り、補助78号線及び放射36号線は、街路樹や沿道のみどりが連続した風格と潤いの広がる景観を形成します。
- みどりの拠点や公園・広場などを都市計画道路等の街路樹でつなぎ、ネットワークを形成するとともに、沿道敷地内の緑化を促進し、みどりの回廊を形成します。
- 歴史や文化を伝える寺社、特徴ある公園・広場などのみどりを維持・保全するとともに、その周辺では建築物や敷地の緑化を促進します。
- 公園や施設などを整備する際には、豊島区発祥の歴史を有するソメイヨシノ¹⁷の特性を踏まえて効果的に植栽し、歴史を偲び、四季を楽しめる景観まちづくりを進めます。

図表3-6 学習院のみどり(血洗いの池)



画像提供：学習院

図表 3-7 グリーン大通り



③水辺を感じる

- 区内で唯一、水面を望むことができる神田川は、水辺の安らぎを楽しめる空間の創出や四季の彩りを感じられる緑化などによって、その魅力を高めています。
- 川沿いにおいては、神田川に顔を向けた建築物などの配置や川と調和した外壁材の使用など、河川と周辺地区が一体となった景観をめざします。

図表 3-8 神田川と桜



17 ソメイヨシノ：20ページ参照



歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する

(1) 景観まちづくりの視点

- 江戸の園芸文化、地域で受け継がれる寺社や歴史的な建築物などを守り、地域の個性を育む景観まちづくりが必要です。
- ソメイヨシノ発祥の地の歴史を有し、鬼子母神の御会式³⁶などの伝統を今に伝える都市にふさわしく、花や祭りで四季を感じられる景観まちづくりが必要です。
- 国際アート・カルチャー都市の実現に向けて、新たな文化を創造する舞台づくりを進めるとともに、都市全体で文化を発信し、人々が楽しめる景観まちづくりが必要です。

(2) 景観まちづくり方針

①歴史と伝統を受け継ぐ

- 寺社や文化財、近代建築物、地域で引き継がれてきた民俗芸能、伝統工芸などの文化資源を生かして、個性ある景観形成に取り組みます。
- 特に寺社や近代建築物などの周辺では、歴史を感じさせるにぎわいや趣ある景観をめざします。
- 地域の景観まちづくりにとって重要となる建造物や樹木を維持・保全し、個性ある街並みの形成に活用していきます。

図表 3-9 雑司が谷鬼子母神



画像提供：法明寺

②花と祭りで四季を感じる

- 江戸の園芸文化が生み出したソメイヨシノやつつじをはじめ、バラ、梅、紫陽花、藤、椿など花々の彩りが広がる景観まちづくりに取り組みます。
- 地域による季節の花の植栽やオフィス、ショップなどでの最新技術を活用した緑化、一人ひとりが庭先やベランダを彩り豊かに飾るガーデニングなどにより、身近で四季を感じられる街並みづくりを進めます。
- 染井よしの桜まつり、東京フラフェスタin池袋、すがも中山道菊まつり、鬼子母神の節分会などの祭りによって、季節の移ろいを人々が楽しむ風景を大切な景観資源として引き継いでいきます。

図表 3-10 すかも中山道菊まつり



③新たな文化とにぎわいを創出する

- 池袋モンパルナスやアトリエ村⁴¹、トキワ荘、紫雲荘²⁵など若き芸術家やマンガ家たちが活躍した記憶を景観資源として活用し、当時の活気や懐かしさを感じられる街並みを形成します。
- 新たな文化芸術の核となる映像や音楽、娯楽などの創造的な活動から生み出される人々のエネルギーやそれを楽しむ表情が広がる風景を育んでいきます。
- 豊島区本庁舎（庁舎まるごとミュージアム）をはじめ、東京芸術劇場、Hareza池袋、あうるすぽっとなどの文化芸術拠点を中心に、文化を軸としたにぎわいある都市空間づくりに取り組みます。
- 道路や公園などは、パフォーマンスやアート展示をはじめとする文化芸術の舞台としての活用を検討し、地域全体で文化を楽しめるまちづくりを進めます。
- 江戸の文化をともに魅力とした駒込、巣鴨・西巣鴨、雑司が谷地域や新たな池袋モンパルナスの創造を担う池袋西、高松・要町・千川、長崎・千早地域などそれぞれの個性を高め合いながら、連携した景観形成に取り組みます。

図表 3-11

「トキワ荘」漫画家たちのプレート



景観
まちづくり方針

3

人々の生活・営みを映す

(1) 景観まちづくりの視点

- 多様な人々を受け入れ、多彩な文化を培ってきた都市の包容力を生かし、様々な人々が交流する風景づくりが必要です。
- 日常生活を支える商店街のにぎわいを高め、人々の交流が生み出す温もりを感じられる風景づくりが必要です。
- 地域の人々による様々な活動と連携し、景観まちづくりの機運を高める取り組みが必要です。

(2) 景観まちづくり方針

①人々の交流を育む

- 鉄道駅周辺を中心とした拠点では、多くの人々が訪れ、集い、交流できるゆとりを備えた魅力ある空間を創出します。
- 公園や広場など親子や子どもたちが安全で楽しく遊び、健康づくりや文化芸術活動の舞台、自然との触れ合いなど、人々の交流を支える場所としての魅力を高めます。
- 地域区民ひろばや銭湯などにおいて、多世代が触れ合う

図表 3-12 南池袋公園



25 紫雲荘：21ページ参照

41 アトリエ村：1930年代、豊島区旧長崎町を中心として、絵や彫刻を勉強する学生向きに建てられた借家群

温かみのある風景を大切にしていきます。

- 「豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定⁴²」を締結した大学や数多くある専門学校などと連携し、大学と地域、学生と住民の交流による文化芸術活動やコミュニティづくり活動を大切な景観資源として活用していきます。

②日常生活を支える商店街のにぎわいを高める

- 日常生活を支えるとともに、地域における交流の場所となっている商店街は、にぎわいのある街並みを維持していきます。
- 特に巣鴨地蔵通り商店街は、周辺の商店街などと連携し、国内外から訪れる人々が日常生活に密着した文化に触れる魅力を生かした街並みづくりを進めます。
- 商店街と駅前広場、公園などを一体的に利用し、様々な地域の活動やイベントを開催することにより、人々が交流する場としてのにぎわいを高めていきます。

図表 3-13 としま池袋東口商人まつり



③地域の様々な活動と連携する

- 生活の安全と健康の質を高めるセーフコミュニティ³²や子どもたちに地域の歴史や伝統を伝えるプロジェクト未来遺産³¹、都電沿いの緑化など、地域の人々による様々な取り組みと連携した景観まちづくりを進めます。
- 各地域で開催される小さな祭りやイベント、行事など、日常生活に密着した人々の営みを大切な風景として育んでいきます。

図表 3-14 巣鴨盆踊り大会



4 地域の特性を惹き立てる

(1) 景観まちづくりの視点

- 鉄道駅周辺などでは、それぞれの地域で育まれてきた歴史や文化の魅力を感じられる景観の創出が必要です。
- 市街地の変遷や土地利用、都市基盤の整備状況など、地域の成り立ちを生かした景観形成が必要です。
- 落ち着いた住宅街から利便性の高い都心居住まで、人々の多様なライフスタイルを支える住宅地の特徴を生かした景観まちづくりが必要です。

31 プロジェクト未来遺産：26ページ参照

32 セーフコミュニティ：26ページ参照

42 豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定：人的・知的・物的資源の交流、教育機能の向上、豊かな地域社会の創造を図るため、平成27(2015)年に区と区内大学との間に締結された協定

(2) 景観まちづくり方針

①地域の魅力を発信する

- 池袋副都心や交流拠点、生活拠点である鉄道駅周辺では、地域の魅力を感じられる個性ある景観を創出し、にぎわいと活力を演出していきます。
- 区の大規模な土地利用転換や施設整備などにあたっては、周辺の景観まちづくりとの連携に配慮します。

図表 3-15 池袋駅西口



②鉄軌道と道路を生かす

- J R山手線や都電荒川線などの鉄道敷地とその沿線では、街中と車窓からの眺めや電車の走る姿に配慮した景観形成を進めます。
- 都市の骨格を形成する幹線道路は、道路ネットワークの形成にとどまらず、みどり、環境、にぎわいなど様々な機能を担う都市骨格軸にふさわしい景観を形成します。
- 都市計画道路をはじめとする道路整備にあたっては、街路樹の整備や街路灯の設置、無電柱化、地域特性を踏まえた色や質感のある舗装材を選択するなど、景観に配慮した整備を検討します。
- 街路樹は、地域の特性や周辺環境にあった樹種の選択、維持・管理に取り組んでいきます。
- 道路沿道では、街路樹と連続した敷地の緑化やオープンスペース⁴³の確保、周辺と調和した建築物等の形態・色彩を誘導するなど、地域の特性を生かした街並みを形成します。

図表 3-16 都電とサンシャイン 60



③個性ある住宅地を受け継ぐ

- 低層住宅地では、周囲に配慮した建築物の形態や色彩、敷地や垣・柵などの緑化、適切な敷地規模の確保などによって、潤いとゆとりある街並みを維持・保全します。
- 戸建てや低中層のマンションが立地する住宅地では、建築物の形態・色彩などの誘導や敷地内の緑化などにより、個々の住宅が周辺環境と調和した街並みをめざします。
- 歴史・文化を伝える寺社を維持・保全し、趣ある街並みをできる限り残しながら、地域の魅力を高める景観を形成します。
- 都市の暮らしを楽しむ多様な人々の姿を風景として育むとともに、都心居住を支える建築物を周辺と調和のとれたものとし、統一感のある都市景観を創出します。

図表 3-17 みどり豊かで落ち着いた街並み



画像提供：柴田いづみ

43 オープンスペース：公園・広場・河川・農地など、建物によって覆われていない土地、あるいは敷地内の空地の総称



5 個性ある街並みを創出し、楽しめる仕組みを構築する

(1) 景観まちづくりの視点

- 地域による景観資源の掘り起しや再発見などの取り組みを進め、魅力ある景観形成につなげていくため、景観まちづくりの機運を高める仕組みが必要です。
- ハード整備とソフト施策を一体的に展開し、高齢者、障害者、子ども、妊娠している人、外国人などを含む誰もが安全・安心にまちを楽しめる都市空間づくりが必要です。
- 総合的な景観施策を展開するために、都市整備、産業、文化、観光、福祉、健康、教育など行政分野間の政策連携が必要です。

(2) 景観まちづくり方針

① 景観まちづくりの機運を高める

- 景観に関する専門家の派遣や景観イベントの開催、子どもたちへの景観教育などに取り組み、地域による景観まちづくりを支援する制度づくりを進めます。
- 新たなまちづくりにあわせて、エリアマネジメント⁴⁴組織による施設管理やイベントの開催、屋外広告物の適正な表示、地域のプロモーション活動など魅力的な都市空間づくりの取り組みを促進します。

図表 3-18 景観教育のイメージ



資料：2015 としまエコライフフェア「豊島の森」観察ツアー

② ハードとソフトが一体となった景観施策を展開する

- 祭りやイベント、文化財、商店街など様々な景観資源を人々が快適に回遊できるよう、歩行者空間の拡大やユニバーサルデザイン⁴⁵の推進、案内サインの整備などに取り組みます。
- ハード整備とあわせて、最新の情報技術を活用した情報提供やフットパスマップ⁴⁶の作成、東京オリンピック・パラリンピック開催とその先を見据えたボランティアの育成などに公民連携して取り組み、まちを楽しめる仕組みづくりを進めます。

③ 政策連携と協働による景観まちづくりを進める

- 都市の価値を高める景観を創出していくため、これまでの行政分野の枠組みを超えた政策連携を推進し、ハードとソフトが一体となった景観政策を展開できる庁内の体制づくりに取り組みます。
- 政策連携の推進によって、これまで活動分野が異なるために接点がなかった地域の人々をつなぎ、新たな協働による景観まちづくり活動を生み出していきます。

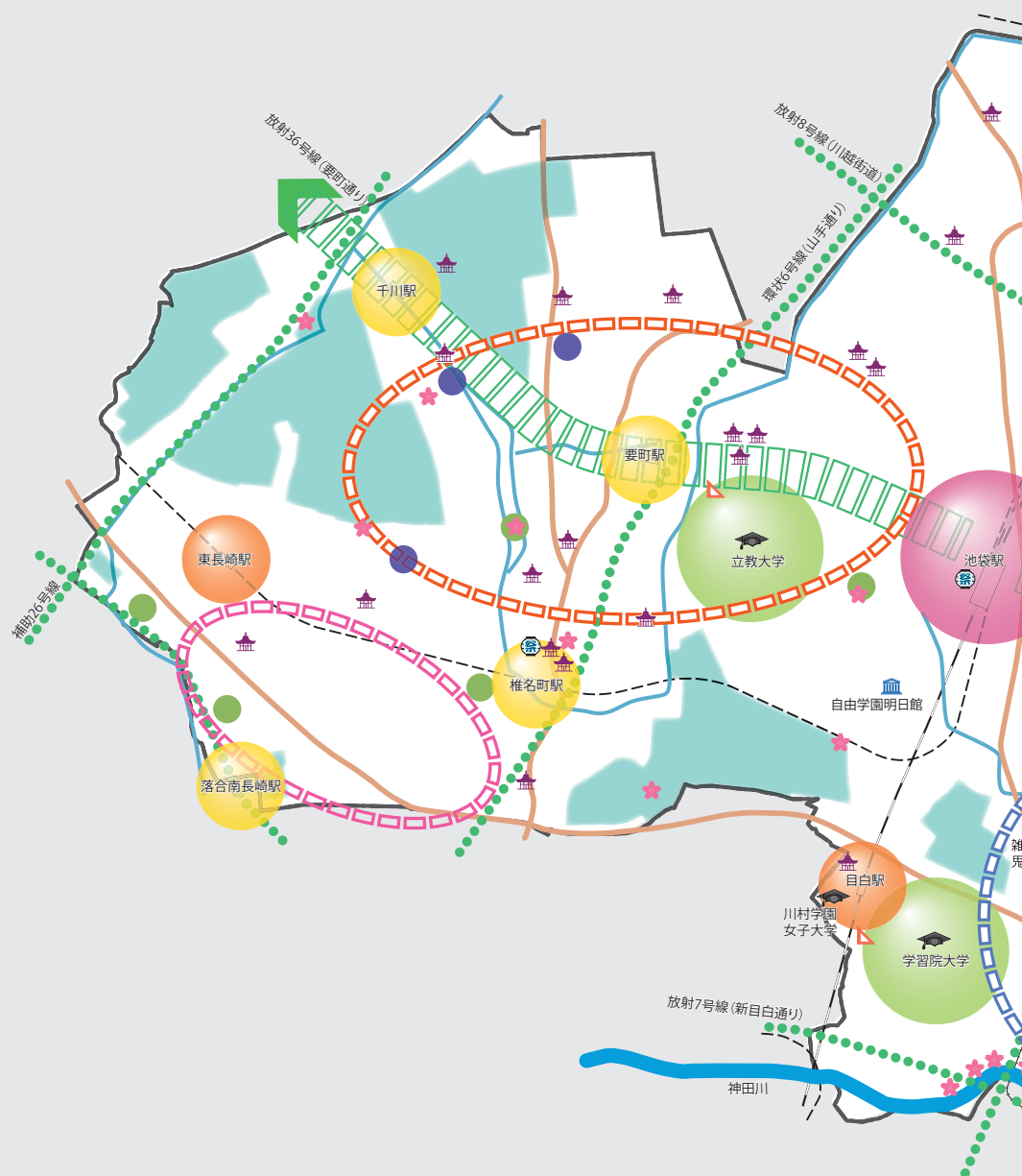
44 エリアマネジメント：住民・事業主・地権者等による文化、交流、広報などソフト面の活動を継続的、面的に実施し、都市の活性化や持続的発展を推進する自主的な取り組み

45 ユニバーサルデザイン：バリアフリーが障害を取り除くのであるのに対し、障害の有無、年齢、性別、人種等に関わらず多様な人々が利用しやすいよう、あらかじめ都市や生活環境をデザインする積極的な考

え方

46 フットパスマップ：フットパスのルートや所要時間等を記した地図。フットパスとは、地域のありのままの風景を楽しみながら歩くこと（Foot）ができる小径（こみち：Path）

図表 3-19 景観まちづくり方針図

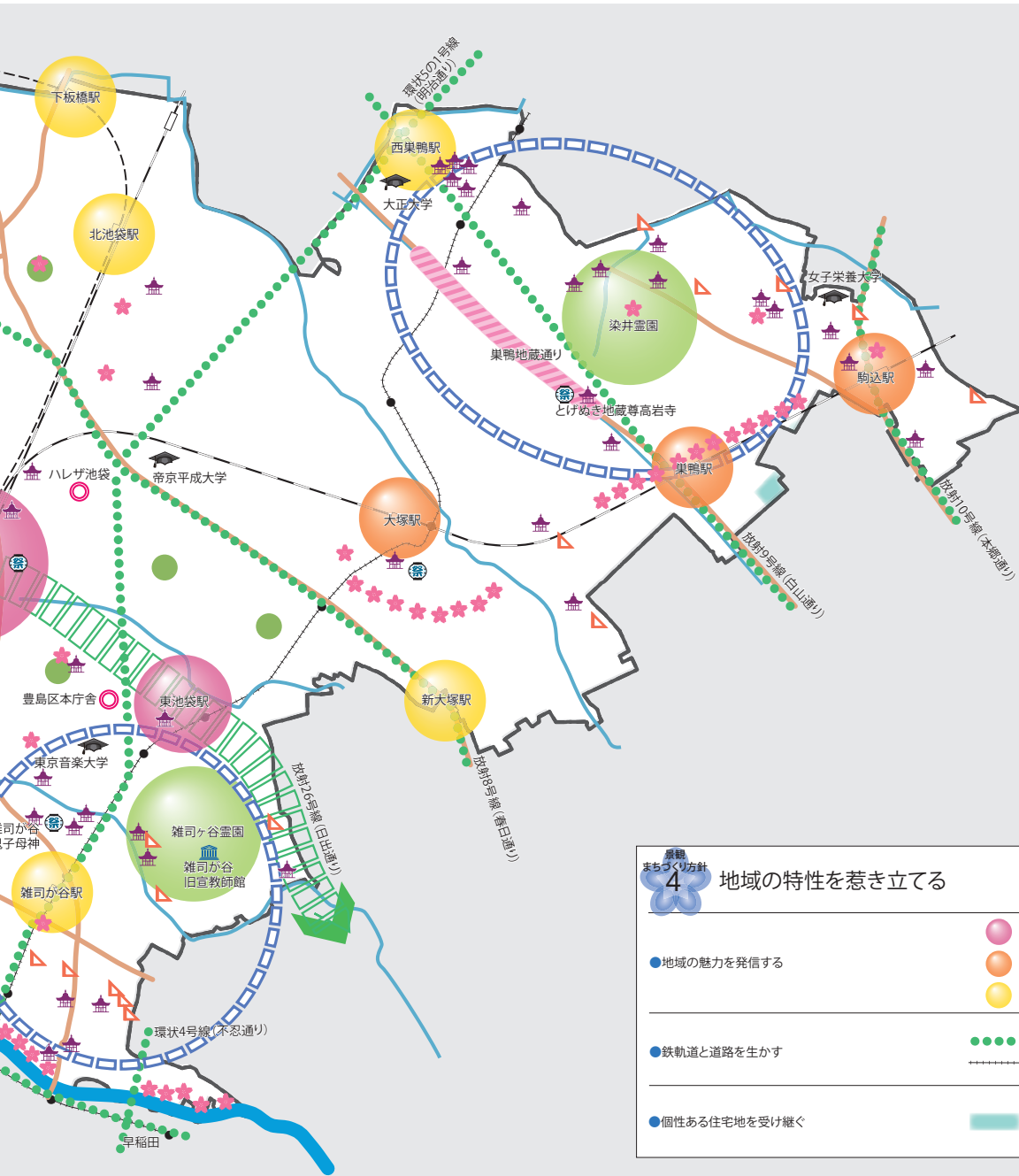


景観
まちづくり方針
1 ゆとりと潤いを創出する

- 地形の表情を大切に
旧河川(暗渠)坂
 - みどりの潤いを広げる
みどりの拠点 みどりの骨格軸
みどりの回廊
 - 水辺を感じる
神田川

景観
まちづくり方針
2 歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する

- | | | |
|------------------|--|--|
| ●歴史と伝統を受け継ぐ |  寺社
 旧道
 文化資源 |  江戸の文化
 アトリエ村跡 |
| ●花と祭りで四季を感じる |  花の名所 |  祭り |
| ●新たな文化とにぎわいを創出する |  サブカルチャー
 マンガの文化 |  新たな文化拠点
 池袋モンパルナスの文化 |



4 地域の特徴を惹き立てる

- 地域の魅力を発信する
- 鉄軌道と道路を生かす
- 個性ある住宅地を受け継ぐ
- 池袋副都心の核
- 交流拠点
- 生活拠点
- 幹線道路
- 都電
- 低層の住宅地 (第1種低層住居専用地域)

3 人々の生活・営みを映す

- 人々の交流を育む
- 日常生活を支える商店街のにぎわいを高める
- 地域の様々な活動と連携する
- 鉄道駅周辺
- 公園・広場・霊園 (5,000㎡以上)
- 商店街
- 大学
- 区域 (区内全域)

5 個性ある街並みを創出し、楽しめる仕組みを構築する

- 景観まちづくりの機運を高める
- ハードとソフトが一体となった景観施策を展開する
- 政策連携と協働による景観まちづくりを進める
- 区域 (区内全域)

